



香川の 土地改良

発行所

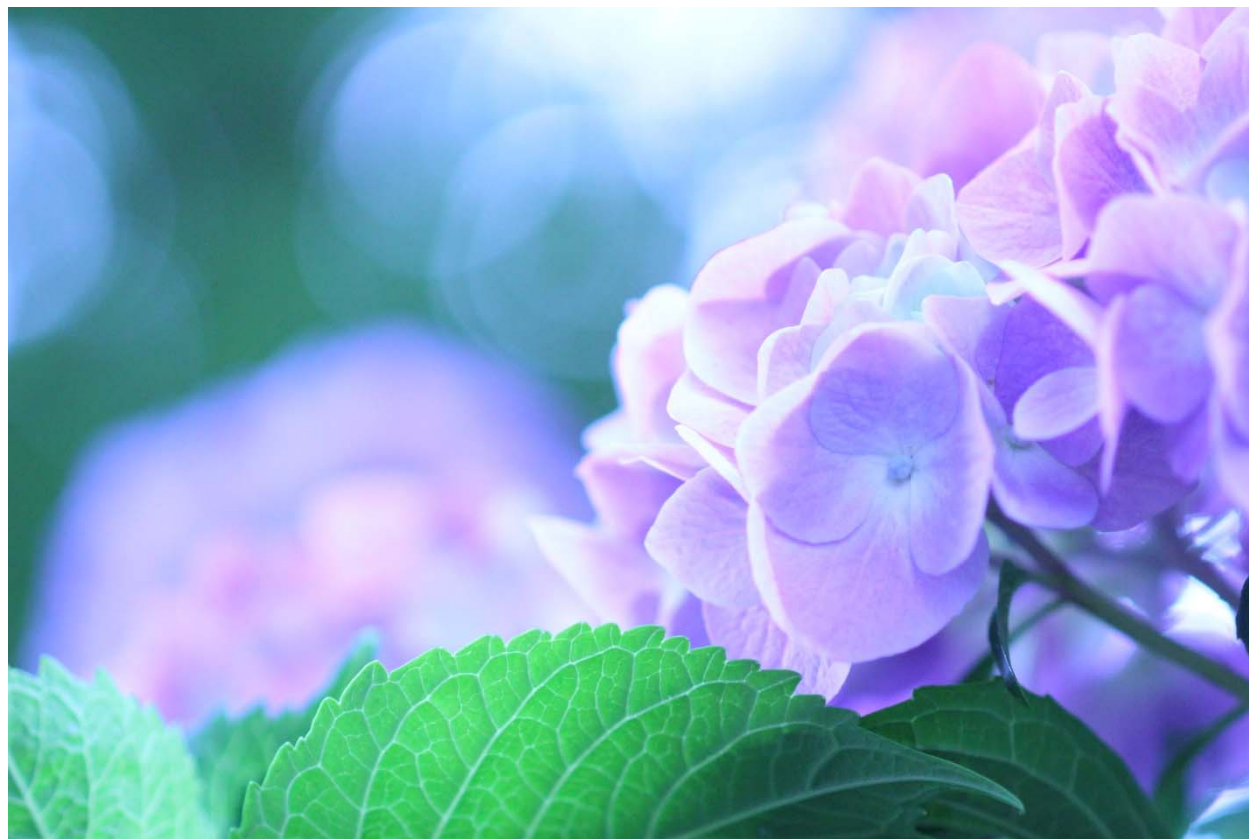
香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町五丁目 1 番 29 号

TEL (087) 832-7140

FAX (087) 832-7150

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



紫陽花（観音寺市）

目 次

1. 中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会開催	2
2. 「農業農村整備の集い」開催	3
3. 平成 30 年度農業農村整備予算の確保・拡大について 県選出国議員へ要請	4
4. 香川県農道整備事業連絡会の開催	5
5. 本会第 1 回監事会	5
6. 水と土と農・広報キャンペーン実施、世界かんがい施設遺産記念碑除幕式	6
7. 香川用水水口祭、三五郎池水神祭り、ゆる抜き始奉告祭	7
8. 「満濃池物語り」第六回	8
9. 土地改良区だより（観音寺市大野原町紀伊土地改良区）	9
10. 会と催し	10
11. 暑中見舞	10

中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会開催

6月16日、琴平町の琴参閣において、中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会が開催された。中国四国の各県水土里ネットの役職員及び、来賓として中国四国農政局並びに香川県の関係者等、総勢30名が出席した。

会議に先立ち、本会の大山茂樹会長が開会の挨拶を行い、当番県として御礼が述べられた。また、中国四国農政局の坂井康宏局長、香川県農政水産部の国分伸二部長より来賓祝辞が述べられた後、総会議事に移行した。

総会では、本会の大山会長が議長として選出され、第1号議案「農業農村整備推進の要望について」、第2号議案「本年度の事業計画について」が審議され、いずれも原案通り承認された。また併せて、本要望・提案書を国会議員、農林水産本省並びに中国四国農政局へ要望・提案する活動計画が採択された。

続いて、中国四国農政局農村振興部の瀧川拓哉設計課長より、土地改良事業を取り巻く最近の情勢についての報告があり、「平成29年度農業農村整備事業関係予算の概要」、「土地改良法等の一部を改正する法律の概要」等の説明があった。



平成30年度農業農村整備事業の予算編成と事業制度等に関する提案

- 提案1 中国四国各地域の農業農村整備に必要な当初予算の確保について
- 提案2 国土強靱化の実現に向けた、農村地域防災減災事業予算の確保等について
- 提案3 多面的機能支払交付金の予算確保について
- 提案4 中山間地農業ルネッサンス事業の制度拡充について
- 提案5 ため池緊急防災体制整備促進事業の延長と採択要件の緩和について
- 提案6 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）の継続について



中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会出席者

「農業農村整備の集い」開催

6 月 26 日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバツハ・サボーにおいて、“農を守り、地方を創る予算の確保に向けて”をテーマに開催された。

集いには、全国から農業農村整備事業関係者約 800 名が参集し、本県からは、本会の大山会長、三笠副会長をはじめ、各地区の土地改良協議会長ら 13 名が参加した。

集いの開会に当たり、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長より、平成 30 年度概算要求に向け予算確保を実現する要請に一致協力するよう挨拶された。



全国から農業農村整備事業関係者と国会議員が参加した

来賓として山本有二農林水産大臣、磯崎陽輔農林水産副大臣、齋藤健農林水産副大臣、細田健一農林水産大臣政務官、矢倉克夫農林水産大臣政務官、金田勝年法務大臣、山本幸三内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革）、西川公也日EU等経済協定対策本部長、宮腰光寛食料産業調査会長、井上義久公明党幹事長、石田祝稔公明党政務調査会長など、多くの国会議員が参加された。来賓挨拶には、山本農林水産大臣、西川日EU等経済協定対策本部長、宮腰食料産業調査会長が壇上に立たれ、本集いの成功を祈念する祝辞がそれぞれ述べられた。続いて、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議の進藤かねひこ顧問より、農業農村を取り巻く環境に鑑み土地改良は日本の命綱であり、国土強靱化のためにも土地改良予算の確保が重要である旨の訴えがあった。

その後、北海道の富良野土地改良区並びに静岡県の新丹谷土地改良区より、先進優良事例を紹介する事例発表が行われた。

最後に、全国の水土里ネットがこれまで培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンのもと、次の要請文が採択された。「一 農業競争力の強化や国土強靱化を図るため、改正土地改良法を積極的に活用した現場適合性の高い柔軟な事業の創設と現場への普及」、「一 強くしてしなやかな農業・農村を支える農業水利施設等について、近年の急激な農業構造の変化や災害・突発事故の多発等を踏まえた、管理体制の整備・強化への支援」、「一 これらの事業を円滑に行うため、米の直接支払交付金が廃止される平成三十年度当初予算では、土地改良予算の経緯も踏まえ、現場のニーズに十分応えられる規模の予算の確保」。これらの実現を期して参加者全員でガンバロウ三唱を行い、本年の農業農村整備の集いは盛会裏に終了した。



都道府県土地改良事業団体連合会会長会議
顧問 進藤かねひこ氏

平成 30 年度農業農村整備予算の確保・拡大について
県選出国會議員へ要請

6 月 27 日、香川県選出国會議員等へ、平成 30 年度農業農村整備事業関係予算の確保、また、本県が直面する課題に対応するため、農村地域防災減災事業予算の拡大及び重点配分、多面的機能支払予算の十分な確保などについて要望した。なお、写真掲載の無い香川県選出国會議員については、公務のため不在につき手交できなかったが、事務所職員を通じて要請書を提出した。



進藤かねひこ参議院議員に要請書を提出



進藤かねひこ参議院議員との懇談



三宅伸吾参議院議員に要請書を提出



三宅伸吾参議院議員との懇談



玉木雄一郎衆議院議員に要請書を提出



玉木雄一郎衆議院議員との懇談

香川県農道整備事業連絡会の開催

6 月 14 日、(旧)香川用水記念会館 5 階会議室において、平成 29 年度香川県農道整備事業連絡会を開催した。本連絡会は、農道整備の一層の推進を図るため、農道管理の適切な運営を確保するとともに、事業の計画及び実施に関して総合的な調整を行うことを目的とし、毎年開催しているものである。議事にも挙げている農道台帳作成に関しては、農道の造成及び管理の状況を的確に把握し、適正な管理に資するためにも必要である。農道台帳が整備され、一定要件農道に該当する農道では、普通交付税算定における補正措置の指標としても用いられるものであることから、農道台帳の整備は不可欠なものである。



連絡会に先立ち挨拶をされる
井川農村整備課長

連絡会冒頭、本会の山地常務理事から開会の挨拶があり、続いて、香川県農政水産部農村整備課の井川課長より、「県内の多くの農道が建設から多くの年月が経過しており、施設の老朽化も進行している。点検整備はもとより、老朽化対策の取り組みなど、農道の計画的かつ適正な管理によって交通事故の未然防止や、施設の長寿命化に繋げるよう、努めて頂きたい。」と挨拶があった。その後議事に移り、いずれも原案どおり承認された。

- 議事
- ・平成 28 年度事業報告並びに収支決算について
 - ・平成 29 年度事業計画並びに収支予算について
 - ・農道台帳作成状況について (13 市町 農道管理延長 933,606m)
 - ・農道整備事業について
 - ・農道台帳管理におけるGIS活用事例について

第 1 回監事会開催

6 月 22 日、(旧)香川用水記念会館 5 階演習室において、本会の平成 29 年度第 1 回監事会を開催した。

大山会長の挨拶の後、森川代表監事が議長となり、下記議案について審議が行われ、いずれも監事全員の賛成を得て承認された。平成 28 年度決算監査、平成 29 年度中間監査においては、事業運営・業務計画・執行状況・会計処理等について、適正に処理されているとの講評があった。



議案

- (1) 平成 28 年度決算監査及び平成 29 年度中間監査実施計画について
- (2) 平成 28 年度事業報告及び一般会計・特別会計収支決算並びに財産目録の承認について
- (3) 平成 29 年度予算執行状況及び財務状況報告について
- (4) 平成 29 年度一般会計収支補正予算について

水と土と農・広報キャンペーン実施



キャンペーン風景

れ分かれて広報活動を行った。本会は、香川県の協力を得て「かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト」の入賞作品を展示のうえ、「子ども絵画展」のパンフレット等を配布して農業水利施設の重要性等をPRした。天候に恵まれた今年の満濃池のゆる抜きにも大勢の観客が詰めかけ、正午の放水には、集まった観客たちから一際大きな歓声が上がった。

6月15日、本会をはじめ関係団体は、満濃池初開抜き式に併せて、21世紀土地改良区創造運動の一環として「水と土と農・広報キャンペーン」を実施した。

午前10時、満濃池堤防上の設営テント前においてスタッフ全員で出陣式を行った後、水土里ネット香川、香川県、中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所、同香川用水二期農業水利事業所がそれぞれ



豪快なゆる抜きに歓声を上げる人々

世界かんがい施設遺産記念碑除幕式



記念碑序幕風景

6月15日正午の満濃池開抜きを前に、昨年11月8日に満濃池が世界かんがい施設遺産に登録されたことを記念し、満濃池堤防上に新たに設置された「世界かんがい施設遺産記念碑」の除幕式が、浜田香川県知事ほか関係者列席のもと多くの観客が見守るなか盛大に執り行われた。

先人の英知と技術により守り継がれる日本最大級のため池であることが評価され、同遺産に認定された満濃池は、約1300年前に築造され、堤高32.0m、堤長155.8m、有効貯水量1,540万 m^3 を誇る日本最大級の農業用ため池である。下流の農地約3,000haへ灌漑用水を供給する、現在でも重要な水源である。満濃池は、過去に度重なる決壊と再築を繰り返している。1631年に西嶋八兵衛によって再築が果たされた際には、稲作に適する常温に近い水面付近から順次取水できる構造として、5つの取水口を備えた^{たてひ}堅樋が設置されたが、この構造は現在でも踏襲されており、卓越した実用技術として評価されている。また、1870年には、それまで定期的な取替工事を要した木製底樋に代えて、堤防西隅の大岩にトンネルを開孔して設置した底樋は、現在に至るまで修繕を要しておらず、その卓越した技術とともに維持管理にもたらした効果は大きい。（石穴工事に関しては、本誌連載企画「満濃池物語り」の第八～九回にて掲載予定）

約1300年にわたって地域の灌漑用水を確保するため、先人たちが自然の猛威と対峙しつつ、当時の土木技術の粋を尽くして守り継がれてきた満濃池は、世界に冠たる農業用ため池として普遍的遺産価値を有している。



世界かんがい施設遺産記念碑

香川用水水口祭

6 月 11 日、三豊市財田町の香川用水東西分水工において「第 33 回香川用水水口祭」が水土里ネット香川用水の主催により執り行われた。

本県では同日よりかんがい期に入り、讃岐平野の田植えが本格化することから、香川用水の配水の安全と豊潤を祈願するとともに、水への感謝の気持ちを新たにするため、水口祭が毎年開催されている。

式典のなか、浜田香川県知事や組橋香川用水土地改良区理事長らによ



財田鉞踊り

り用水路へ御神酒が注がれると三本の水柱が噴き上がった。神事後、財田鉞踊りや財田町長野獅子、大野原龍王太鼓の奉納が続いた。今年の水口祭も、大勢の観客が詰め寄せ大いに賑わいを見せた。



神酒奉灌式

三五郎池水神祭り



内海八幡神社神職による祝詞奏上

内海町安田三五郎池土地改良区

平成 29 年 6 月 5 日

貯水量 8.5 万 m³

受益面積 12ha

ゆる抜き始奉告祭



東植田八幡神社での奉告祭

四箇池土地改良区

平成 29 年 6 月 7 日

関係ため池（合計貯水量 625 万 m³）

神内池・松尾池・城池・公湊池・

坂瀬池

受益面積 927ha

満濃池物語り

まんのういけものがたり

第六回 有志たちの満濃池復旧奔走

「四国作家」同人

平井 忠志

和泉虎太郎が建設費を工面

幕末の安政元年に決壊した満濃池は、復旧もされないまま放置されました。高松・丸亀・多度津の各藩とも財政難で、建設費が工面出来なかったのです。そんな中で満濃池の復旧に奔走した有志の一人に、和泉虎太郎がいました。

彼は那珂郡金蔵寺村（善通寺市）の豪商で、砂糖の製造や卸売で財をなし、「金虎」と呼ばれ、上方でも商人仲間に名を売っていました。

彼は水源を失った農民の惨状を見るに忍びず、独力で資金の調達に走りました。彼は大阪の豪商・白川彦三郎と交渉し、年賦償還で満濃池復旧費の借入れを約して、高松に帰りました。

虎太郎はこの一件を早速高松藩に報告して、復旧工事の許可を求めました。ところが高松藩は、せっかくの虎太郎のお膳立てにソッポをむいたのです。

藩にしてみれば、満濃池の天領を預かっている高松藩をカヤの外においた、独断専行の資金調達です。藩がつむじを曲げたのでしょう。

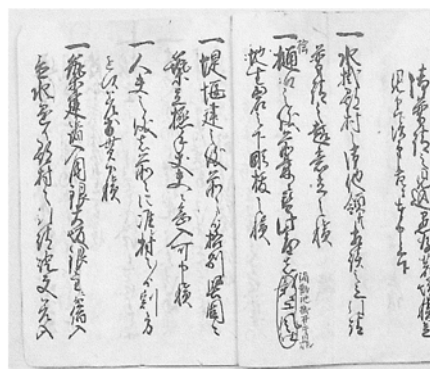
当時高松藩では、内憂外患を抱えていました。幕府の大老・井伊直弼が、「桜田門外の変」で暗殺され、大老の娘を奥方に迎えていた高松藩主・松平頼聡が離婚を迫られていました。

一方領内では、幕命により外国船の侵攻に備え、屋島の長崎の鼻や神在鼻しんざいのはなに砲台を築き、守備隊を置くという、てんやわんやの戦時体制でした。

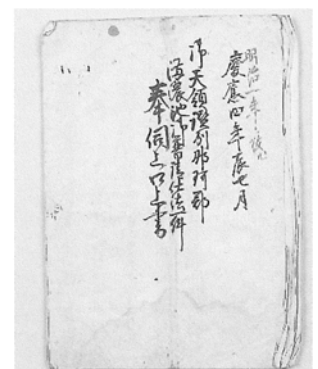
しかし、虎太郎は諦めませんでした。慶応元年（一八六五）五月、虎太郎は『御内々伺い奉る口上書（控）』（和泉豊成氏蔵）という嘆願書をしたため、伝手を頼って朝廷に、満濃池の復旧を内奏したのです。

虎太郎の嘆願書には、もう一つ底樋の斬新な工法が示されていました。今までの木造底樋に代えて、池底の岩山をトンネルで掘り抜く案です。

この嘆願書は虎太郎の個人名で、藩はむろんのこと、大庄屋の副申書もありませんでした。このため朝廷では、「天領（池御料）の代表者一人を加えて、改めて申請するよう」という書類を添えて、差し戻しています。



【慶応四年（明治元年）】



【慶応元年】

和泉虎太郎嘆願書（部分）

和泉豊成氏所蔵

～土地改良区だより～

観音寺市大野原町紀伊土地改良区

観音寺市大野原町紀伊土地改良区は、観音寺市大野原町の東北部に位置する、水田 113ha、畑（樹園地含む）190ha を有する地域の施設管理等に従事している。

本地域では、水稻・露地野菜・施設園芸が栽培されている。「らりるれレタス」のブランド名で、京浜・京阪神方面の市場において長く高い評価を得ているレタスについては、温暖な気候を活かし約半世紀にわたり栽培され続けている地域の特産品である。このほか、ナス・たまねぎ・ブロッコリー等の生産も盛んである。

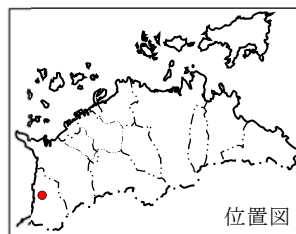
これら地域の農業生産を支える水源については、二級河川柞田川が本地域の一部を貫流しているものの、水源としての流量が少ないため、本地域の主水源は紀伊大池をはじめとする大小約 20 余りのため池と地水の利用に拠っているところである。土地改良区としては、この生命線ともいえるため池や樋門、水路等の農業用水利施設を守り後世に確実に受け継いでいくことは、地域農業はもとより地域社会の発展のためにも重大な責務であると自覚し、適正な維持管理等に日々従事している。

本地域の水田は、殆どにおいて圃場整備を完了しているものの、近年は休耕田が増加しており、山間部の樹園地においてもその衰退が著しくなっている。これは、農業従事者の高齢化や、後継者不足などが要因と考えられる極めて切実な問題である。これら対策の一環として、平成 19 年度から、「農地・水保全管理支払交付金（向上・共同活動支援交付金）事業により、地域内の農地や農業用施設の保全並びにこれら活動を通じたコミュニケーションの増進等に、地域一丸となって取り組んでいる。

現在は、多面的機能支払交付金事業として、地域内殆どの地区が活動に参加しており、地域の農地や農業用施設の保全等に引続き努力しているところである。我が土地改良区も、地域の負託に応え、先人が遺した財産を次代に確実に引き継いでいくため、一層努力していく所存である。



紀伊大池



土地改良区の概要

所在地 観音寺市大野原町大野原 1260-1 番地
団体表彰

平成 22 年 3 月 全国土地改良事業団体連合会 銅章
受益面積：303ha（田 113ha、畑 190ha）

組合員：418 名 総代：30 名

理事：10 名 監事：2 名 職員：1 名



齋藤一夫理事長

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
6 月 2 日	香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会	高松市
6 月 5 日	三五郎池水神祭り（内海町安田三五郎池土地改良区）	小豆島町
6 月 7 日	ゆる抜き始め奉告祭（四箇池土地改良区）	高松市
6 月 8 日	吉野川総合開発香川用水事業推進協議会総会（第 51 回）	〃
6 月 11 日	第 33 回香川用水水口祭（香川用水土地改良区）	三豊市
6 月 14 日	香川県農道整備事業連絡会	高松市
〃	土地改良法等の一部改正に伴う農地中間管理機構関連事業の事業要件に係る説明会	岡山市
6 月 15 日	満濃池初開抜式典（満濃池土地改良区）	まんのう町
6 月 16 日	中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会	琴平町
6 月 18 日	主基斎田お田植まつり	綾川町
6 月 22 日	本会第 1 回監事会	高松市
〃	土地改良管理指導担当者会議	東京都
6 月 26 日	農業農村整備の集い ―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―	〃
6 月 27 日	農業農村整備予算の要請活動	〃
〃	第 1 回水土里ネット広報女性部会	〃
6 月 28 日	香川県農業会議第 2 回通常総会、常設審議委員会	高松市
6 月 29 日	本会第 173 回理事会	〃

暑中お見舞い申し上げます

平成二十九年七月 盛夏

水土里ネット香川
（香川県土地改良事業団体連合会）

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--------------|---------------|------------|---------------|---------------|------------------|--------|------------------|--------------|--------|---------------|------------|-------|---------------|-------------|-------|
| 監事 | 監事 | 代表監事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 常務理事 | 副会長 | 副会長 | 会長 |
| 尾鼻勝吉 | 藤澤武 | 森川典 | 國重進 | 古市弘 | 近藤貢 | 齋藤範 | 藤井秀城 | 東山光徳 | 山本貞二 | 栗田隆義 | 祐安正 | 泉川雄 | 山地孝士 | 三笠輝彦 | 組橋啓輔 | 大山茂樹 |
| 香南町土地改良区理事 | 高松市多肥土地改良区理事 | 観音寺市高室土地改良区理事 | 満濃池土地改良区理事 | 木田郡三木町土地改良区理事 | 三豊市財田町土地改良区理事 | 香川県三豊市三野町土地改良区理事 | 東かがわ市長 | 内海町安田三五郎池土地改良区理事 | 坂出市松山土地改良区理事 | まんのう町長 | 綾歌郡永富池土地改良区理事 | 香南町土地改良区理事 | 学識経験者 | 香川県内場池土地改良区理事 | 香川用水土地改良区理事 | さぬき市長 |

外職員一同